



チーハクン

出前あすなろ塾

先生方の前向きな姿に感動！

学級づくりのポイントでは、両市「保護者との関係づくり」について、授業づくりのポイントでは、市原市が「分かる・できる授業づくり」、香取市が「資質・能力を育む『主体的・対話的で深い学び』の授業づくり」について学びました。市原市では19名、香取市では25名の小・中学校の先生方が参加し、前向きに演習や情報交換に取り組みました。両会場とも、やる気あふれる研修会となりました。

市原市（8月26日 市原市教育センター）

【参加者の声】



他校種の先生方とのグループワークは、おもしろく勉強になりました。他の先生方の工夫や実践を聞くことができたので、自分も取り入れていきたいと思いました。



保護者対応について、自分が意識してもできないことが多くある中で、あらためて「傾聴」の意識を高めていこうと思いました。



研修で教えていただいた知識はもちろんのことですが、KJ法の要素を取り入れた分類やアイスブレイクといった手法も勉強になりました。

香取市（8月30日 香取市役所）

【参加者の声】



本研修では、特に深い学びについて勉強することができました。授業の中で、鋭い発問をすることで子供たちの学びが深まるため、教材研究の重要性をあらためて感じました。



保護者対応については、一緒に子供たちの成長を見守る大人として、手を取り合っていける関係性を築いていきたいと思いました。また、報連相の大切さも感じました。



今日の研修は、すぐ実践につながる研修であったため、保護者との関係づくりや授業づくりのポイントをまとめ、実践していきたいです。